

学校評価（後期）の結果と今後の取組

後期学校評価の結果をお知らせします。

保護者アンケートの回収率は68%（前期100%）でした。保護者の皆様には、アンケートへのご協力ありがとうございました。

今回の評価結果を踏まえ、次年度の教育活動の見直し・改善に努めるとともに、家庭や地域と一体となった教育の充実に努めてまいりますので、引き続き、ご理解とご協力くださいますよう、お願いいたします。

【評価の仕方】 各項目4段階（4点満点）で評価しています。アンケートの結果は児童及び保護者の回答状況を比較しやすくするため、各項目の平均値を算出して示しています。

1 授業中のルール

	児童	保護者
前期	3.6	2.9
後期	3.4	2.9

児童の90%、保護者の76%が概ね守れていると回答しています。今後も引き続き、発表のしかたや聞き方、学習用具の準備、ていねいな文字でノートを書くなど、全校で統一した「学習のやくそく」を指導していきます。

2 生活のルールやマナー

	児童	保護者
前期	3.6	3.2
後期	3.6	3.0

児童の96%、保護者の89%が概ね守れていると回答しています。廊下歩行等に課題が見られているため、今後も特別活動や道徳の時間などを通して、生活のルールやマナーを守ることの大切さについて、引き続き指導していきます。

3 あいさつ

	児童	保護者
前期	3.8	3.4
後期	3.7	3.2

児童の95%、保護者の95%が概ねできていると回答しています。今後も進んであいさつすることや、時と場合、相手に応じた言葉遣いができるよう、引き続き指導していきます。

4 友達への思いやり

	児童	保護者
前期	3.4	3.2
後期	3.4	3.2

児童の94%、保護者の86%が「相手の気持ちを考え、思いやることができているか」の質問に、肯定的な回答をしています。相手が傷つくような言葉遣いや態度がトラブルに発展する事例もあり、今後は様々な教育活動を通してコミュニケーション能力の向上を図り、相手の気持ちを思いやることのできる「やさしい子」の育成にさらに力を入れていきます。

5 自分の思いや考えを伝える

	児童	保護者
前期	3.3	2.8
後期	3.2	2.7

児童の80%、保護者の67%が概ねできていると回答しています。友達と意見交流する対話的な学習場面を充実させて自分の考えをもつことを大切にするとともに、学校生活の中で自分の思いや考えを表現する活動を増やしていきます。

6 対話的な学習

	児童	保護者
前期	3.4	2.9
後期	3.2	2.7

児童の83%、保護者の74%が「話し合う活動を通して、考えを深めたり広げたりしているか」の質問に対し、肯定的な回答をしています。今後も引き続き、ICTを効果的に活用して、「主体的・対話的で深い学び」を実現する課題解決型の授業改善に取り組み、子どもたちが互いに考えや思いを表現し合える環境づくりを心掛けていきます。

7 ねばり強く学習に取り組む

	児童	保護者
前期	3.6	2.8
後期	3.6	2.8

児童の96%、保護者の74%が概ねできていると回答しています。今後も引き続き、「個に応じた指導」の充実を図り、これまで以上に子どもの成長やつまずき、悩みなどの理解に努め、個々の興味・関心・意欲等を踏まえ、きめ細かく指導・支援する授業改善に努めていきます。

児童アンケート「学校は楽しい」

	児童
前期	3.3
後期	3.3

児童の83%「学校は楽しい」と回答しています。これからも児童が楽しく学べるよう、分かる授業づくり、学校行事等を工夫するとともに、いじめの見逃しゼロを目指し、子どもたちに寄り添い、安心・充実感を感じられる居心地のよい場所になるよう努めていきます。

児童アンケート「各教科の勉強は好き」

	国語	算数	理科
前期	3.1	3.2	3.4
後期	3.0	3.1	3.2

国語は69%、算数は72%、理科は80%の児童が「好き」と回答しています。算数は、「退職人材活用事業」や「算数専科」の取組による結果が表れてきているのではと考える。どの教科・領域等の学習でも同じだが、導入の重要性を職員間で共有し、理科であれば、自然の事象の「？」を感じさせることを重視したい。また、国語は「読む」「書く」「漢字」などの指導を継続していきます。今後とも、一人一台端末等を有効活用し、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体化を図る授業改善に努めていきます。

児童アンケート「携帯電話の所持率」

「インターネットの利用」
「個人情報公開しません」

児童の57%が自分の携帯電話を所持しています。また、児童の52%が「パソコンやゲーム機の通信機能で家族以外とネットやメールをする」と回答しています。さらに、児童の99%が「個人情報などを公開してはいけない」と回答しています。

学校では、情報モラル教室などで、使用上のルールやマナーについて指導しています。ご家庭でも「フィルタリングを設定する」「寝るときには、子ども部屋に携帯を持ち込ませない」「1日の使用時間を決める」などルールを設け、健康にも配慮した上で子どもたちに使わせていただきますようお願いいたします。

<参考>おたるスマート7

https://www.city.otaru.lg.jp/docs/2020110900838/file_contents/shou13.pdf

裏面もご覧ください

保護者アンケート

「学校は相談しやすい」

	保護者
前期	2.9
後期	2.6

保護者の71%が「学校は子どものことをよく分かってきて、相談しやすい」と回答しています。

前期と比較すると、11ポイントも下がっています。

これからも保護者の皆様の期待と信頼に応える学校づくりを進めていきます。

保護者アンケート

「学校の取組や子どもたちの様子を 分かりやすく伝えている」

	保護者
前期	3.1
後期	3.0

保護者の81%が「学校は、学校だよりや学級通信等で、学校の取組や子どもの様子を分かりやすく伝えている」と回答しています。これからも学校の取組や考え方、児童の活動の様子がしっかりと伝わるよう情報共有に努め、双方向の連携を目指していきます。

保護者アンケート

「毎日家庭学習に取り組む」

	保護者
前期	3.2
後期	3.0

保護者の74%が「子どもは毎日家庭学習に取り組んでいる」と回答しています。前期と比較して12ポイントも下がりました。ご家庭でも、宿題をきちんとすることや国語の教科書の音読など「学年×10分+10分以上」を目指した家庭学習の習慣の定着にご協力をお願いします。家庭学習ゼロ時間0人を目指していきます。

児童アンケート

「体育が好き」、「目標をもって運動に取り組む」

児童の95%が「体育が好き」と回答し、99%が「自分で目標をもって体育の授業や運動に取り組んでいる」と回答しています。これからも体育専科教員の専門性を生かした授業改善に取り組み、主体的に体力を高めようとする子どもたちを育みます。

	早寝	運動
前期	3.0	3.3
後期	2.8	3.1

保護者アンケート

「早寝・早起き・朝ご飯+運動の習慣」 「家庭でもらんだから運動に親しんでいる」

	好き	目標
前期	3.8	3.9
後期	3.8	3.8

保護者の72%が、子どもに「早寝・早起き・朝ご飯+運動」の習慣が身に付けられるよう意識していると回答しています。また、保護者の57%が「子どもは家庭での運動に親しんでいる」と回答しています。望ましい生活習と運動習慣を身に付けることは、学力向上・体力向上につながります。徒歩にて登下校をさせるなど、日頃から生活リズムを整え、運動にも親しむ習慣が身に付くようにしましょう。

児童アンケート

「朝ご飯を食べて登校している」

児童の95%が概ね「毎日朝食を食べて登校している」と回答しています。朝食の役割や重要性について、関連する教科等の時間や学校行事等の機会を通じて、継続的に指導していきます。

	児童	保護者
前期	3.8	3.9
後期	3.7	3.8

保護者アンケート

「朝ご飯を摂ることは大切」

「朝食を摂ることは大切である」と回答した保護者は100%です。これからも『早寝・早起き・朝ご飯』など望ましい生活習慣の確立に向けて、双方向の取組を行っていきます。ご協力をお願いします。

児童アンケート

「給食は好き嫌いをせずに食べている」

95%の児童が、「給食を好き嫌いせずに食べる」と回答しています。これからも嫌いなものでも一口は食べてみようとする気持ちを育つよう、保護者の皆様の理解と協力を得ながら、日常の給食指導において根気強く指導します。

なお、学校で学んだことを家庭の食事で実践できるように協力をお願いします。

	児童	保護者
前期	3.4	3.7
後期	3.3	3.7

保護者アンケート

「栄養のバランスを考えた食事をとることは大切」

保護者の100%が「栄養のバランスを考えた食事が大切である」と回答しており、前期と比較して2ポイント増えました。朝食をはじめ「主食、主菜、副菜」をそろえるなどして栄養のバランスのよい食事を心掛け、心身の成長や健康の保持増進に努めていただきますようお願いいたします。

ご意見について

- ・ 変わらず子どもに寄り添ってもらえたらと思うので、よろしくお願いいたします。
- ・ いつもPTA会議で学校の様々な取組や気遣いを知り、ありがたいなあとしみじみ感じる。お便りやtetoru配信も読んでいるが、校長をはじめ先生方の話を直に聞くのが一番安心する。
- ・ 個人的には、担任の先生はじめ校内の先生方に毎日子どものことを気にかけていただき、笑顔で、登校できていることに大変感謝している。
- ・ 10月に児童が亡くなったことに関して、学年にかかわらず子どもたちの心身のケア、安全な登下校に関わることであったので、登校前に学校側から情報提供してほしい。その後も学校から子どもたちに対してどのように話があって、どのような対応をしていくのか説明がほしい。
- ・ 6年生の学級について、多くの児童保護者が納得できない学校の対応が疑問。担任の先生に対しても、担任を外して休職に追い込むまでの必要があったのかとも思う。部外者ではあるが、6年生の皆さんが笑顔で、卒業できるよう、そして先生が自信をもって現場に戻ってこられるよう、対応していただけたらありがたい。
- ・ 1年生の担任が早く決ましてほしい。
- ・ 学校は一部の意見ばかり耳を傾けて、他の意見を聞き入れない。公平に欠けている。

たくさんのご意見ありがとうございました。

今年度は、様々な事案が発生し、児童をはじめ、保護者並び地域の皆様にはご心痛をおかけしましたこと、心からお詫び申し上げます。また、子どもたちのために変わらぬご支援をいただきましたことに感謝申し上げます。

これからも子どもたちが楽しく、安全・安心な学校生活を送ることができるよう、家庭・地域との連携・協働を大切にしたい学校づくりに努め、「やさしく かしく たくましい」子どもの育成に職員一丸となって努めていきたいと思ひます。何卒ご理解とご協力、ご支援のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

